

阪南市民、市職員の皆様



ゆ ば ひ で あ き
阪南市 **弓場 秀昭** (69歳)

新型コロナウイルスによりお亡くなりになられた方々に謹んでお悔み申し上げます。また罹患された方とご家族の皆様には心よりお見舞い申し上げます。私は半身肢体不自由(大阪府身体障害2級)の弓場秀昭(69歳)です。

私は現大阪維新の会水野市長、与党議員らが主張する「身を切る改革」に反対します。豆腐や大根を切っても血は出ませんが、生身の市職員・市民は血が出ます。「身を切る改革」は、不良生徒が、気の弱い生徒懐の「カツアゲ(脅し)」を、私は連想します。

ホームページ 嘘の無い街へ <http://www17.plala.or.jp/usononaimatihe/>



1 「高齢障害者の主張」

今般の選挙で当選すると、市民の税金を頂戴する新人・古参老若男女の大阪維新の会議員らは、「財政非常事態」を宣言した、弱り目崇り目の「阪南市の伏魔殿」に、緑色旗幟を鮮明にし、威勢良く討ち入りする四志士は、「15年間一度も赤字にならない」と言う「持続可能な行政運営可能な行財政改革プランが出来上がりました」と、大阪の良き文化や、気の弱い職員の切り捨て御免、真偽は不明ですが、江戸時代武将の「百姓は生かさず殺さず」の名言を連想する、市民に窮乏生活を強いる、「身を切る改革」を聞かされている様な気がします。しかし私も時には、会社トップや幹部らの社有車に同乗させて頂いた事もありましたが、さすがにビックリしました。

当時の私の経験上、グローバル企業の経営者らは、今般の新型コロナウイルス禍に限らず、世界の金融経済・原油資源・気候変動・地理的紛争の激変の下でも、如何に世界の国々や、社の従業員、取引先、協会社、株主、行政機関等全ての、ステークホルダー(利害関係者)と中立の、継続的發展、社の使命を果たす事に身を投じています。

即ち昨今では、2015年9月の国連サミットにおいて採択された「SDGs(エス・ディー・ジーズ)は、貧困や飢餓問題、健康と教育、格差、不平等、安全な水の確保、エネルギー、働きがい、産業・経済成長、環境、気候変動、パートナーシップ等について169のターゲットを掲げています。その中でも「SDGs」の目標は、これまで成し得なかった「誰ひとり取り残さない」世界をつくるという力強い理念のもと、地球上のすべての人がより幸せになる未来を目指しています。私達が目指し続ける世界を、国連も発表しています。

2 「弓場秀昭の政治信条と公約」

(1) 少数清廉精鋭議会による、市長の監視強化と重要情報の住民投票制度の整備促進

周知の通り「国の補助金」の抵当(かた)に、旧ヤマダ電機の建物に阪南市の子供たち全員を、押し込めるといっておよそ市民感覚から遠く離れた暴挙が、でたらめ行政の、極め付けとしてありました。特に市議会が「総合こども園」の案件を議決してしまいました。

結果的に市民の良識によってこの暴挙を止めましたが、その「でたらめ行政」の最大の原因は、市職員出身者が3歴代市長になり、市議会議員、長期市顧問中央法律事務所らの、「総合子供館以外は使用出来ない」という、黒田地の「借地の重要約定第2条」を市民に開示せず、また現水野市長公約違反の「250名館再創設強行」を許したのは、歴代市長・与野党議員らの市民へ、重要情報の公正な情報開示をしなかった事に尽きます。結果市民への長期不安や、4億5千万円超の損額を拡大させました。

(2) 新少数清廉精鋭議会による「4億5千万円回収」の、ロードマップ公開について

現大阪維新の会水野市長と、現与党議員らは、「身を切る改革」を訴えますが、本来約4億5千万円超を損失させた、歴代市議会議員らこそが、自ら全損額を回収する責務があります。

私が提案します回収方法は、例えば今般令和3年9月19日市議会議員選挙で当選した14名議員が、「緊急財政健全時限条例」を発効し、現在の14名定数市街会議員を、「議員定数の8名定数議員等(小学校区割り)」の、「少数精鋭市議会」に発展的議員削減を実施します。

即ち「財政非常事態議会内の再投票」を実施し、「精鋭8名議員」を再選出して、議員定数6名削減後、「緊急事態新市議会」を発足し「4億5千万円回収」の、ロードマップを市民に公開するのです。そうすれば無駄な再選挙を省略でき回収の途に就けます。(詳しくは弓場秀昭の広報、「ホームページ嘘の無い街へ」で閲覧できます)

(3) 市長・市議会と独立した公正中立専門家による、介護サービス違反審査機関の整備

私は要介護者市民に、「不信・危険行為」の濡れ衣を着せて、一方的に要介護者命綱の「介護」を断絶する市長・市職員、指定介護事業所らの、集団介護サービス断絶と社会的に抹殺する人権侵害を撲滅するには、絶対市長・市議会と、完全に独立した公正・中立の専門家らによる、新たな介護事業者の指定基準違反の審査機関を、全国に先駆けて至急整備する必要があります。私の8年間の体験上、全国要介護者らの尊厳ある生活を守る唯一のライフラインです。

(4) 市職員らを利用して、一方的に介護断絶する指定介護事業所を市から退場させます

私は指定介護事業者、指定介護事業所と不適切な関係を続ける市職員らは、市から退場してもらいます。要介護者の印鑑盗用、市販印鑑の無断押印、サービス記録の改ざん、訪問宅での盗聴録音、特に要介護者や、国保連等からの公金を不正受給した、指定介護事業所は、自ら申告しなければ当局と連携して、横領された公金を完全に回収します。併せて総合子供館創設案件では、一万3千筆の住民投票要請を無視する市長、市議会に正しい指導せず、市民に中立公平な指導をしないで、市民に長期精神的苦痛や莫大な損害を拡大させた、3代以上市長の長期市顧問中央法律事務所を、至急変えて「市民に中立公平」な、正義ある新たな市顧問事務所と契約して、全阪南市民の命と、人権・財産を守り過去の不正の有無を調査します。

ゆ ば ひ で あ き
弓場 秀昭

大阪府阪南市桃の木台 ホームページ 嘘の無い街へ

TEL:090-7358-5217

<http://www17.plala.or.jp/usononaimatihe/>



昭和51年3月大阪市立大学商学部商学科卒業。平成21年7月花王株式会社墨田事業SCM部門途中退職(脳出血疾患)。花王株式会社では、地域の責任者として花王ソフィーナの販売体制構築、新販売店美容支援制度確立等、花王化粧品
の基盤を確立する。生産・物流部門では、「生産・販売・物流、各部門の全体最適化」を図り、「サプライチェーン・
マネジメントSCM)」を提唱し、国内家庭用品・化粧品のSCM推進による、最適配置化に尽力する。